



QUESTION タウンミーティング

木と暮らす LAB.01 「木と森と、ウェルビーイング」

近年、ココロもカラダも社会的にも“良い状態”「ウェルビーイング」が注目されており、私たちの働き方、暮らし方、考え方が大きく変化する中、様々な分野で、その実現に向けた模索が始まっています。

様々な分野の人々が出会い、木や森の可能性を広げる創造の場「木と暮らす LAB.」。

この度、人と社会に優しい素材としての木と森の特性を生かし、福祉、アパレル、アート、地域活性化などの分野で、より良い社会や未来に向けて挑戦されている方々を交え、木や森を生かすことがウェルビーイングにつながる可能性を探る QUESTION タウンミーティングを開催しますのでお知らせします。

記

1 日時

令和4年3月30日（水）午後5時～午後7時

2 会場

京都信用金庫 QUESTION 4F Community Steps
（京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 390-2）
※ オンラインでも同時開催します。

3 募集人数

- (1) QUESTION 会場参加 20名 ※定員を超えた場合は抽選
- (2) オンライン参加 50名

4 プログラム

第1部：プレゼンテーション「木と森を生かした、より良い未来への挑戦」

- 河本 歩美氏（(社福)京都福祉サービス協会地域共生社会推進センター代表）
- 増永 滋生氏（株アドプランツ代表取締役社長）
- 松井 啓介氏（株デザインハウス風代表取締役社長）
- 安井 源太氏（京北堂(株)取締役／安井源太芸術研究所代表）

第2部：参加者との対話

5 申込期間

令和4年2月21日（月）～3月18日（金）

6 申込方法

以下の申込フォームから、必要事項を入力して申込

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000294101.html> →



7 参加方法

(1) QUESTION 会場参加

当日午後4時半から受付を開始します。開始時刻までに会場にお越してください。

(2) オンライン参加

タウンミーティング開催の前日までに事務局より視聴用URLを送付します。

8 参加費用

無料

9 注意事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、内容を変更または中止する場合があります。
- ・ 会場参加の方は必ずマスクを着用のうえ、手指アルコール消毒をお願いいたします。また、その他にも、私語は控えるなど感染対策に御協力ください。
- ・ 発熱・咳等の症状がある場合には参加を御遠慮ください。
- ・ 感染症対策の観点から会場参加の人数を制限させていただいております。あらかじめ御了承ください。
- ・ オンライン配信は Zoom を利用予定です。通信環境により映像や音声が入乱れる場合があります。
- ・ 参加者の通信等の不備への対応は出来ません。視聴前に必ず動画視聴に適した通信環境を御準備ください。
- ・ 当日は、進捗状況により予定時刻が前後する場合があります。

10 主催等

主催／京都市，チーム Kyo-So 共催／京都信用金庫 QUESTION

本タウンミーティングは、令和3年6月に京都信用金庫と京都市で締結した「多様な主体の協働による社会課題・地域課題の解決に向けた連携協定」に基づき、京都信用金庫と協働で開催します。

11 問合せ先

京都市産業観光局農林振興室林業振興課（担当：廣瀬・加賀見）

電話：075-222-3346 Mail：ringyosinko@city.kyoto.lg.jp

(参考1) 出演者プロフィール



河本 歩美 氏

社会福祉法人京都福祉サービス協会

高齢者福祉施設西院施設長（現在は紫野施設長）として、高齢者福祉施設の利用者によるものづくりブランド「sitte」を立ち上げ、木製品の製作を通じて、高齢者の「自立支援」と「社会参加」に取り組んでいる。現在は、同法人の地域共生社会推進センター代表も務める。



増永 滋生 氏

株式会社アドプランツコーポレーション代表取締役

京都を拠点に森林を再生し地域づくりを行っている自然環境コンサルタント。近年では京都の自然を守り次世代に繋ぐための「京都缶*環づめプロジェクト」も運営し、竹林の再生を目指したタケノコカレー等を開発。「循環」をテーマとした食から環境活動へと繋がる取組を展開している。



松井 啓介 氏

株式会社デザインハウス風代表取締役社長

北区を本拠に国内外のアパレルブランドにテキスタイルデザインを提供している。ペレットを燃料に北山杉から抽出した染料を使った「ロウウッド」を開発。アパレル業界の環境負荷低減に取り組んでいる。



安井 源太 氏

京北堂株式会社取締役／プロダクトデザイナー

平成27年に京都市京北に移住し工房を構え、美術作品の制作から造形の受注製作などを行うアーティスト。

京北の木工職人や建築デザイナーと共に令和2年に京北堂株式会社を設立。木製家具や内装のデザイン、施工等を行っている。

(参考2) 関連情報

木と暮らす Lab.

林業・木材産業，環境，福祉，教育，文化芸術，伝統産業など，様々な分野の事業者等が出会い，新たな木製品や木質新素材の開発，森林サービス産業の創出，環境負荷の低減や林福連携をはじめとする社会課題の解決など，事業活動を通じて木や森の可能性を広げ，より良い未来の実現を目指す創造の場。

木と暮らすデザイン KYOTO

「京都市木の文化・森林政策推進本部」の取組のひとつとして，「現代の暮らしに合った，人と森との新たな関係性のデザイン」をコンセプトに，幅広い分野の企業や大学等を繋ぎ，森林資源の活用を促進するプラットフォーム。

【公式 HP】 <https://kitokurasu-design.city.kyoto.lg.jp/>



チーム Kyo-So

右京区京北地域を主なフィールドに，事業者や個人が参画し，林業・木材・木の文化をテーマとしたプロジェクトに取り組むプラットフォーム。京北地域をはじめとした北部山間地域の活性化に取り組む。

【公式 HP】 <https://kyo-so.mystrikingly.com>